

3、調査として、現物は今ビル解体作業中の現場に寝かされていたので、現物からの情報は外観と寸法のみとなった。



建物を解体するため碑を寝かした



寝かされた閉校記念碑



場所位置図

本体と土台と脚部等がバラバラになり、横倒し状態で、設置現場に保存されている。

本体部、縦 102 cm、横 137 cm、幅 24 cmの花崗岩の中に、横 91 cm×縦 30 cmの記念文字「新潟市工之跡」刻印(おもて面)の黒御影石が埋め込まれている。(裏面も同様と思われるが倒れていて見えず不明)、本体の重さ推定 900Kg。

本体石と土台部は、四角い脚部花崗岩石二個で繋がれている。二個の脚部石の下も又花崗岩で、更にその下も花崗岩で、その下の地面に接するところはコンクリートとなっていて、石の接合方法は全て接着剤又はセメントの塗布のようであった。尚、現在閉校記念碑は、寝かされた状態にあるため裏面については不明である。

その他◆「北部総合コミュニティセンター・創立五周年記念(碑)」や、入り口付近のコンクリートのR字型門の裏側にはめ込まれている◆「昭和38年度卒業生寄贈」の記念碑が発見された。



入口のポールにあった記念碑



入口横にあった昭和38年卒業生寄贈碑